

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和8年2月28日
タイトル	美しい田園風景を支えているもの ～京都府 瓶原大井手用水～
水土里レポーター名	ひげ めぐみ みかのほら 髭 愛 (瓶原土地改良区 所属)

京都府木津川市、瓶原（みかのほら）地域にある大井手用水は、約800年前の鎌倉時代に作られました。この用水路は、長い歴史の中で幾多の修理、改修を重ねながら、現在も現役で使われています。その特筆すべきは、和東川の水源を利用して一日7万トンもの水を電気などのエネルギーを一切使用せず、自然の力だけで水田まで運んでいることです。昔の人達の知恵や技術に感動せずにはられません。その大井手用水を維持管理するために、土地改良区役員の方々が4月～9月の期間、毎日行っている掃除と見回りに同行しました。（令和7年8月30日）

### ① 頭首工（川からの水の取り込み口、取水口）の掃除

<朝6:30>

格子に挟まったゴミを取り除きます。今回はゴミ（落ち葉、木の枝、人が出すゴミ等）が少ないそうです。雨が降った後などは、1メートルほどの高さまでゴミが詰まってしまうこともあるとか。



作業の様子

令和7年は例年に比べ非常に雨が少なく、川の水量がかなり減りました。夏の降雨量だけでなく、その年の3月の降雨量も一番水田で水が欲しい時期の水量に影響しているそうです。以下の写真は水源である和東川取水口の例年の様子と令和7年の様子を並べたものです。



令和7年の取水口付近の様子



例年の取水口付近

例年の様子と比べると一目で水量が少ないことがわかります。瓶原地域では渇水対策として取水制限を行うなどの対応を迫られました。常に自然との対話が欠かせません。

## ② 沈砂池の掃除

### 【沈砂池とは】

土砂などを沈殿させ流れから除くための池のこと。ここで土砂等が取り除かれ、用水路を通り田へと流れていく。

沈砂池に溜まった砂等は3月に一度大掛かりな掃除を行い取り除きますが、枝や落ち葉等が流れつく為、日々の掃除も欠かせません。



沈砂池



沈砂池掃除の様子

## ③ サイフォンの掃除

### 【サイフォンとは】

河川など横断する際に、河川の下をくぐるように地下に設ける水路。入口と出口の高低差を利用して水を流す。

大井手用水は昭和28年の南山城水害により取水口付近が倒壊し、その後の修復時にこのサイフォンを導入しました。サイフォンの入口は非常に流れが速く、ものすごい水量です。時々野生動物（鹿, アライグマ等）も引っかかってしまうことがあるというから、驚きです。



サイフォン入口



サイフォン入口の掃除



サイフォン出口の掃除

## ④ 終了

<朝7:20>

この日はゴミが少なく、1人の役員さんで1時間かからずに終了しました。台風などの大雨の後には、3人がかりで2時間近くかかることもあるようです。

4月下旬～9月下旬までの5カ月間、毎日このような掃除と見まわり作業をされています。

瓶原地域の美しい田園風景は、農家さんだけでなく、土地改良区役員の皆さんの見えない努力によって支えられていると感じた一日でした。